

（注）

十一月十五日 罷業。東京中山登氏の歸阪を待つ罷業職工の一部は松岡紡織所の争議を應援した。工場主は中山登氏に招電を發した、解決の曙光は歸阪に依つて望み得られるであらう。

松岡之部

十四日夜局面を展開する爲職工側に在りては元電業員組合幹部内田文~~一~~は男工四名女工二名を同伴芦屋在の松岡社長宅を訪問したが社長不在の爲其儘引揚げる。

十五日午前十時二十分より罷業團は松岡野球グラウンドに於て運動會を催す

尼ヶ崎合同組合、同伊丹支部、中山亞鉛鍍金罷業團、總同盟大阪聯合會の他新に京都聯合會よりも來援し奥村甚之助自分